

2021年(令和3年)2月24日(水)
日刊新周南

「健康エキスパート薬剤師」について
神女薬局の中野薬局長が取材を受け
記事に掲載されました。

「健康エキスパート薬剤師」発足
身近な薬の相談窓口に10人

サプリ、ドーピングの相談も

健康と医療の両面かを受けた。から総合的に対応できる。この制度は、身近な薬剤師の制度「県健康薬局、薬剤師が知識とエキスパート薬剤師」経験を生かして地域住りが18日から始まり、県民からの相談に対応内で101人、周南地し、健康管理の助言な域で10人が新たに登録どのニーズに出来る全

国でも初めての取り組みで、登録には一定の研究の修了が必要となる。

登録者は、健康エキスパート薬剤師であることを示すバッジを着け、勤務する薬局にのぼりを立てて、地域に広くアピールできる。安全な薬の使い方だけでなく、健康や介護に関する相談も受け付け、休日や夜間も対応。サプリメントの使い方、運動選手がうつかり服用してドーピングと判定される薬のアドバイザーもする。

登録薬剤師は、県薬務課のホームページで確認できる。
登録を受けた周南市
久米の神女薬局の中野大地薬局長(38)は「薬剤師の専門性を生かしつつ、敷居の低い相談窓口として皆さんに頼りにしてもらえ存在にしたい。薬の飲み合わせなども気軽に相談ください」と話している。
周南地域のその他の登録者は次の通り(敬称略、18日現在)
「周南市」広津実雄(ひまわり薬局、代々木通2)
「下松市」伊藤由紀子(いとう薬局、美里町4)▽角田勇太郎、末永由佳(健栄薬局、大手町2)▽大坪順子(めぐみ薬局、栄町3)
「光市」末延康弘、梅山英明(いちご薬局室積店、室積中央町4)▽高橋祥浩、松本圭代(なないろ薬局、虹ヶ浜3)



中野薬局長



神女薬局入り口ののぼり